2016年8月5日

株式会社クレディセゾン(8253) 2016年度4-6月期決算発表

2016年度4-6月期は、「Neo Finance Company in Asia」を経営ビジョンに掲げた2018年度を最終年度とする中期経営計画を策定し、新たなビジネスモデルの変革を強化いたしました。

持続的成長の実現に向けた新規カード会員の獲得による顧客基盤の拡大に加え、クレジットカードをはじめプリペイドカードなど、さまざまな決済手段の提供を通じた個人消費のキャッシュレス化を促進するとともに、提携先企業との協業による法人向けソリューションツールの拡充により、法人決済のキャッシュレス化にも取り組みました。さらに、有力なネット企業との新規事業の開発や、ベンチャー企業とのオープンイノベーションによる、新たな収益を生み出すビジネスモデルの構築を加速しました。また、信用保証事業やファイナンス事業などノンバンクビジネスの強化を図り、多様な資金ニーズに対応したファイナンス商品を通じて有力な提携先との連携を強化し、良質債権の積み上げに取り組みました。

アジア圏内では、ベトナム、インドネシアにおいて、現地企業との戦略的パートナーシップにより、リテール金融ビジネスの拡大に取り組みました。

当連結会計年度のセグメント別概況は次の通りです。

1. 営業概況

(1)クレジットサービス事業

カード会員を拡大し、顧客基盤を拡充。ショッピング取扱高・リボルビング残高が伸長し、営業利益56億円（前期比2.8%増）。

① 「三井ショッピングパークカード≪セゾン≫」など、提携先企業と共同での会員募集に加え、WEBやタブレット端末を活用した会員募集を強化し、カード総会員数は17万人増加し、2,579万人となりました。

② スーパーやショッピングセンターなど提携先小売店舗を中心にカード利用活性プロモーションやリボルビング払いなど多様なお支払い方法の訴求により、ショッピング取扱高は1兆856億円（前期比4.1%増)、リボルビング残高は前期末より109億円増加し、3,496億円（前期末比3.2%増）となりました。

③ 法人決済のキャッシュレス化として、企業規模・ニーズに応じた法人向けカードやサービスの提供を強力に推進し、法人向けカードの新規発行が前期比17%増加した結果、取扱高は前期比22%伸長しました。

④ ネットビジネスの基盤となるネット会員は31万人増加し、1,282万人に拡大させ、ネット会員を対象としたインターネット広告事業では、広告収益が前期比23.6%増加しました。

⑤ 2016年5月には、当社が保有するデータを活用し、カード会員に対する最適な情報配信や法人向けのマーケティングソリューションの提供を実現する「プライベートDMP（Date Management Platform)」（セゾンDMP）を（株）デジタルガレージと共同構築しました。また、2016年6月にはベンチャー企業の画期的なサービスを紹介するメディア「hintos(ヒントス)」を開始するなど、ネット上のさまざまなサービスから収益を生み出す新たなビジネスモデルの構築に取り組みました。

⑥ アジア圏内における海外事業展開では、ベトナム「HD SAISON Finance Company Ltd.」において、二輪車や家電販売ローンを中心に取扱件数・貸付残高ともに拡大しました。また、インドネシア「PT.Saison Modern Finance」では、リース事業の拡大に取り組みました。

（2）リース事業

既存主力提携販売店との共同キャンペーン実施や新規重点販売店への営業強化により、取扱高は 273 億円（前期比 6.0%増）。また貸倒関連費用の抑制に努めた結果、営業利益 13 億円（前期比 3.7%増）。

（3）ファイナンス事業

資金ニーズに対応する多様な商品を強みに、提携先との密接な連携強化を通じて良質債権を積み上げ、営業利益 38 億円（前期比 17.3%増）。

① 信用保証事業は、事業資金にも対応したフリーローン保証商品により、地方銀行や信用金庫など地域金融機関とのきめ細やかな連携体制の構築に努めた結果、提携先数は 394 先（前期差 12 先増）、保証残高は 3,053 億円（前期末比 2.5%増）となりました。

② 長期固定金利住宅ローン「フラット 35」では、前期より取扱いを開始した「セゾンのホームアシストローン（住宅購入時の諸費用ローン）」など商品ラインナップの拡充効果により、実行金額 318 億円（前期比 57.8%増）、住宅金融支援機構への債権譲渡済み残高は 3,718 億円（前期末比 4.6%増）となりました。

③ 投資用不動産購入をサポートする「セゾンの資産形成ローン」は、有力な提携先との連携強化により、実行金額 224 億円（前期比 106.3%増）、貸出残高は 1,472 億円（前期末比 16.6%増）と堅調に伸長しました。

2. 経常利益・純利益概況

単体業績は、営業収益 579 億円（前期比 4.6%増）、営業利益 110 億円（同 10.8%増）、経常利益 127 億円（同 11.6%増）の増収増益となりましたが、連結業績では、不動産関連事業の前年同期において、連結子会社（株）アトリウムの再構築計画に伴う大口不動産の売却による一時的な売上増加の反動減等により、営業収益 675 億円（前期比 1.9%減）、営業利益 124 億円（同 16.2%減）、経常利益 153 億円（同 13.3%減）、四半期純利益は 112 億円（同 10.8%減）となりました。

なお、2016 年度通期の業績予想につきましては、5 月 13 日に公表しましたとおり、営業収益 2,780 億円、営業利益 420 億円、経常利益 500 億円、当期純利益 385 億円と変更はございません。

以上

（ご参考）2016 年度 4－6 月期 単体業績

(1) 新規カード開拓枚数	:	77 万枚	（前期比 6.5%減）
(2) 新規カード発行枚数	:	62 万枚	（前期比 3.4%減）
(3) カード総会員数	:	2,579 万人	（前期末からの純増数 17 万人）
（内ネット会員数）		（1,282 万人）	（前期末からの純増数 31 万人）
(4) 稼動会員数	:	1,470 万人	（前期末からの純減数 7 万人）
(5) カードショッピング取扱高	:	1 兆 856 億円	（前期比 4.1%増）
(6) カードショッピングリボ残高	:	3,496 億円	（前期末比 3.2%増）
(7) カードキャッシング取扱高	:	667 億円	（前期比 4.5%減）
(8) カードキャッシング残高	:	2,175 億円	（前期末比 0.4%増）
(9) 営業収益	:	579 億円	（前期比 4.6%増）
(10) 経常利益	:	127 億円	（前期比 11.6%増）
(11) 四半期純利益	:	93 億円	（前期比 23.7%増）